

令和7年第14回議会運営委員会 要点記録

開閉会日時	令和7年12月12日（金曜日）			開会	11:00		会議場所		別海町議会 委員会室1	
				閉会	12:00					
委員の出欠	1 番	市川 聖母	出席	2 番	吉田 和行	出席	3 番	高橋 真結美	出席	
	8 番	田村 秀男	出席	9 番	小椋 哲也	出席	10 番	外山 浩司	出席	
	11 番	今西 和雄	出席	15 番	戸田 憲悦	出席				
委員外の出席	議長		西原 浩					合計	1名	
事務局職員	局長		入倉 伸顕	主幹		木幡 友哉		合計	2名	

会議に付した事件及び会議結果など

発言者			会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長	9番	小椋	11:00 開会・挨拶
			会期1日、出席委員8名、委員外1名
委員長	9番	小椋	議事1 令和7年第4回定例会等の運営について
			・1日目（議案説明）何かあるか。 今回、教育長の選任時に退席しなかったが、過去、選挙管理委員長や代表監査委員が退席した例がある。 除斥は議員にのみ適用される規定で、執行機関に義務はないが、調べたところ他の議会でも任意で退席している例はある。
議長	16番	西原	・今回は、前回の副町長の選任時と同じ取り扱いをした。そのときは退席していなかった。
委員長	9番	小椋	・次回議会全体で会議があるときに話し合って方向性を決めたい。 ほかにあるか。
委員		一同	・特になし。
委員長	9番	小椋	・2日目（一般質問）何かあるか。 原因不明の音がうっすら鳴り続けていた時間帯があった。
委員	1番	市川	・議長から、音が鳴っているのでスマホなどを確認してほしい旨のアナウンスをしてもらえればよかった。
議長	16番	西原	・議場内がざわついているとは思ったが、議長席からは音は確認できなかったので何が起きているか分からなかった。 議員動議で会議を止めてもらってもよかった。 また、それとは別に、携帯電話の音を鳴らしてた議員がいた。 何年か前に議場には携帯電話を持ち込まないという取決めをしたので、改めて確認したほうがいい。
委員長	9番	小椋	・議員も傍聴者も職員も、機器類の音が鳴らないように毎回しっかり確認できるようにしていくことが必要。
事務局主幹		木幡	・議員、職員の機器の持ち込みは、貸与品しかできないことになっているので、タブレット以外は持ち込まないように徹底してほしい。
委員長	9番	小椋	・傍聴者は貼り紙で対応、議員は直前の議員間討議で確認することとする。
委員	3番	高橋	・水について、演台に置いてあるが飲むタイミングが難しい。質問者席に置けないか。
委員長	9番	小椋	・次回から移動する。事務局で調整してほしい。
事務局主幹		木幡	・承知した。
副委員長	11番	今西	・一般質問の質が上がってきていると感じている。
委員長	9番	小椋	・特に委員会調査との連動が図られてきていると実感している。 ほかにあるか。
委員		一同	・特になし。

令和7年第14回議会運営委員会 要点記録

委員長	9番	小 椋	・3日目（予算決算審査特別委員会、広報・広聴常任委員会）何かあるか。なお、2 常任委員会については4日目でまとめる。 まず、予算決算審査特別委員会について。 ・特になし。 ・次に、広報・広聴常任委員会について。 ・小委員会と全体委員会の順序を逆にし、小委員会でまとめた内容を全体委員会で報 告する流れのほうが進めやすいと感じたが、どうか。 ・それがいいと思う。 ・会期内でやるのか。広報と広聴でかかる時間が違い、これまでも広報小委員会は長時 間かかっていると思うが、調整はできるか。 ・広報小委員会が長いが、30分以内とするなど時間を決めておけば終われると思うので、 会期内の実施で可能。 ・全体会議の前に30分といった取決めをしておいて対応していくこととしたい。 ほかにあるか。 ・特になし。 ・4日目（2常任委員会）何かあるか。なお、3日目の付託審査も含む。 ・総務産業の審査案件については、委員会としての意見を付して委員長報告を行ったが、 うまくまとめることができたと思う。今後に活かしていきたい。 ・今回2日日程で常任委員会を開催したが、それでも2日目の夕方までかかった。本格的 に会期延長の検討が必要だと感じた。 ・以前に話したとおり、年明けに議会運営全般に関する課題共有会議を予定しているの でそこで協議したい。 ・福祉文教の審査案件については、附帯意見付きの可決となったが、前段として、委員会 運営をもっとうまくできていれば、こじれることはなかったかもしれないと反省している。 もっと早く委員会で協議できていればよかった。 ・所管とは対立関係も必要ではあるが、ある意味信頼関係も必要で、お互いに情報を共 有できる関係が築ければ委員会活動もうまくいくのではないかと考えている。 ・条文の内容について言えば、一部改正の範疇を超えているような気がするということ、 二つの法律を一つの条例で整理しようとしているところの無理が生じている部分もあった。 ・それらも事前に調査で取り上げて話し合えていたらもっと違った改正案が上がって きたかもしれないので、所管との関係性という部分も含めて課題共有会議で話し合っ ていきたい。 別件で、総合政策部から拠点再生構想全8件に関する報告を行いたいとの申出が あったことから、その他報告事項として追加したが、内容的には調査として取り扱えるほど まとまっていた。 そういった場合は、委員長と所管のやり取りの中で合意形成し、調査として取り扱うこと も考えていく必要がある。 ・産業振興部の案件についても、その他報告事項で取り扱ったものの、質疑応答を行って もいいという所管からの申出によりそうした件があった。 そうであれば、初めから調査として扱うべきだったとの反省はしているところ。 ・前々から話題になっている、お互いの委員会運営を見学することも踏まえて、ある程度 双方同じような進め方をしていかなければならないと思っている。 事務局も含めて一つのチームとして進めていければいい。
委員	一同		
委員長	9番	小 椋	
委員	8番	田 村	
委員長	9番	小 椋	
事務局主幹		木 幡	
委員	8番	田 村	
委員長	9番	小 椋	
委員	一同		
委員長	9番	小 椋	
副委員長	11番	今 西	
委員長	9番	小 椋	
事務局長		入 倉	
委員	10番	外 山	
委員長	9番	小 椋	
委員	8番	田 村	
委員長	9番	小 椋	
副委員長	11番	今 西	
委員	8番	田 村	

令和7年第14回議会運営委員会 要点記録

委員長	9番	小 椋	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局の力は絶対必要だが、事務局が最大限の力を発揮できるように、議員個々もやれることはできるだけ自分たちでやるようにしていければいい。
委員長	9番	小 椋	
			<ul style="list-style-type: none"> ・5日目（討論・採決）何かあるか。 町長の挨拶の中で1月の臨時会が当初聞いていた28日より前にあるかもしれないとの話があったが、どういった意味合いかわかるか。
事務局長		入 倉	
			<ul style="list-style-type: none"> ・事前調整では28日で固まっていたが、町長の考えとして、国の経済対策の準備ができたら早期に臨時会で補正予算を組みたいとのことであり、基本的には28日も開催し、それ以前にも開催するといったことではなく、状況によっては早まる可能性があるを押さえておいてもらいたい。 決まり次第改めて連絡する。
委員長	9番	小 椋	
委員		一 同	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにあるか。 ・特になし。
委員長	9番	小 椋	
			議事2 その他
			<ul style="list-style-type: none"> ・現状、地域めぐり懇談会のまとめを議会運営委員会で行い、必要な部分については、行政に伝えることとなっているが、各常任委員会で情報共有ができていることから、あえて議会運営委員会から報告書などを作成して町への提出はしないこととしたい。 ・異議なし。
委員		一 同	
委員	8番	田 村	<ul style="list-style-type: none"> ・なお、地域めぐり懇談会に関する広報の記事の題材については、広報小委員会で選定し、お知らせする。 ・ほかにあるか。
委員長	9番	小 椋	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
委員		一 同	
委員長	9番	小 椋	閉会挨拶
委員長	9番	小 椋	12:00 閉会